

7月16日：出来高は少なく、VN 指数は小幅高で推移

「今週のマーケットは出来高の少ないまま横ばいで推移し、少しずつ下値を固めてから上昇トレンドに戻るだろう」（SSI証券のアナリスト）

「出来高は少ないが、VN 指数は 1,286～1,261 ポイントの下値抵抗線から回復を続けており、それは下値形成時に見られる典型的なシグナルだ」（同証券会社）

「現在 底値買いの需要はまだ小さいため、VN 指数は少ない出来高で、引き続き横ばいで推移する可能性があった」（同証券会社）

「もし出来高が 50 日平均線まで増加し、VN 指数が 1,340 ポイントの上値抵抗線を上抜けるなら、同指数は上昇トレンドに戻る可能性がある」（同証券会社）

ホーチミン市場の VN 指数は 0.42% 高の終値 1,299.31 ポイントだった。

同指数は先週 3.6% 下落していた。

先週の日当たりの平均売買高は 5 億 9,990 万株で、平均売買代金は 19 兆ドン（8 億 4,780 万米ドル）だった。

「テクニカル分析で売買シグナルは混在しており、今週最初の取引で VN 指数は 1,290～1,310 ポイント付近で変動するだろうと予想されている」（BOS証券）

「投資家はマーケットを注意深く観察し、そしてポートフォリオの現金比率を高めることを考えるのが良い」（同証券会社）

「買い需要が戻るため、マーケットではより低い価格帯で調整が続く可能性がある」（サイゴンハノイ証券）

石油ガス関連株はペトロリメックス +0.6% (PLX)、PV オイル (OIL) +0.8%、ペトロベトナム・ドリリング (PVD) +3.5%、ビンソン製油石化 (BSR) +3.5%、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS) +6% といった多くの関連株が上昇し、好調だった。

残りのほとんどの銘柄は、軟調に推移した。銀行株も軟調で、アジアコマーシャル銀行 (ACB) -4.5%、ベトナム投資開発銀行 (BID) -5.3%、VP バンク (VPB) -6.3%、ベトコ

ムバンク (VCB) -6.6%、ヴィエティンバンク (CTG) -7.8%、テクコムバンク (TCB) -8.8%と週間で下落した。

「短期投資はあまり安全ではない」 (ベトキャピタル証券 調査分析部 シニアマネージャー、Vu Minh Duc 氏)

「もし利益確定売りが増加し、再びVN指数が1,270ポイントを下抜けるなら、同指数はさらに下の下値支持線である1,200ポイント付近まで下落する可能性がある」 (同氏)

「コロナ第4波が与えた2021年下半期のベトナムの経済成長への影響は大きかった。ベトキャピタルのマクロ経済部が発行した最新レポートでは、2021年のベトナムのGDP成長予想は6.7から5.5%と低く設定された。しかし、我々はこれらは一時的な影響であると考え、GDP成長率は今後2年間で6.5%を超えると予想される」 (同氏)

「しかしマーケットの投資資金に影響を与えている要因はパンデミックではなく、市場の成長トレンドに対する投資家の自信だ」 (同氏)

ハノイ取引所のHNX指数も0.48%高の307.76ポイントと上昇した。同指数は先週0.34%上昇していた。

先週の日当たりの平均売買高は1億2,680万株で、平均売買代金は2兆7,000億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。